

災害時の医薬品等確保・供給体制の整備状況等に関するアンケート調査結果

藤井寺保健所生活衛生室薬事課

中河内・南河内地域の地域災害薬事コーディネーターに調査した結果は以下のとおり。(R7.12月時点)

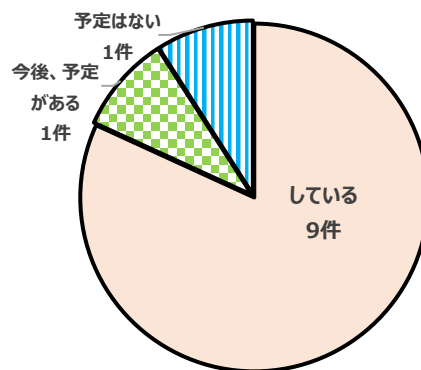
回答数：11件（11件中） ※各支部に所属するコーディネーター間で協議のうえ、1枚にまとめて回答

中河内地域：八尾市、柏原市、東大阪市布施、河内、枚岡薬剤師会

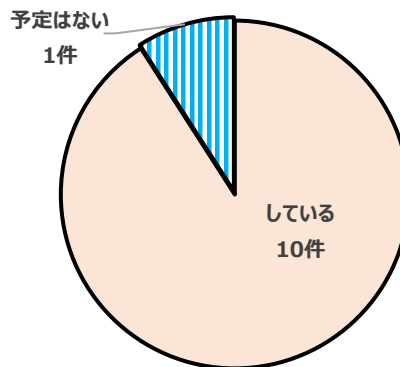
南河内地域：富田林、河内長野市、松原市、羽曳野市、藤井寺市、大阪狭山市薬剤師会

1. 市町村の災害対策に関して、活動内容を教えてください。

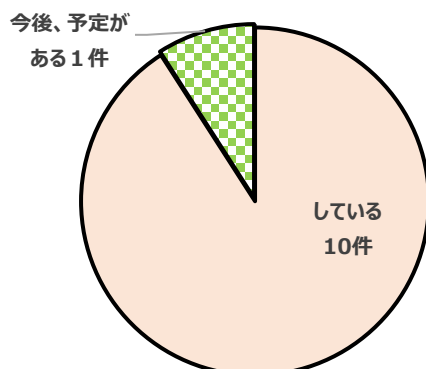
① 市町村が主催する災害対策に関する会議へ参加している。



② 災害研修を実施している（参加含む）。



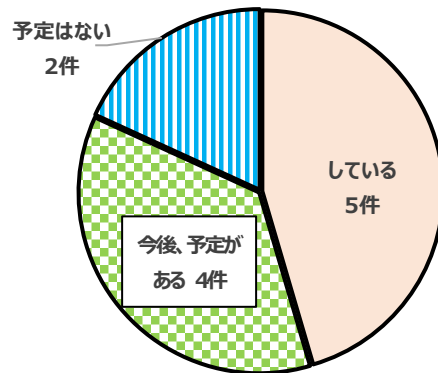
③ 地域の薬局と災害時の連絡方法を決めている。



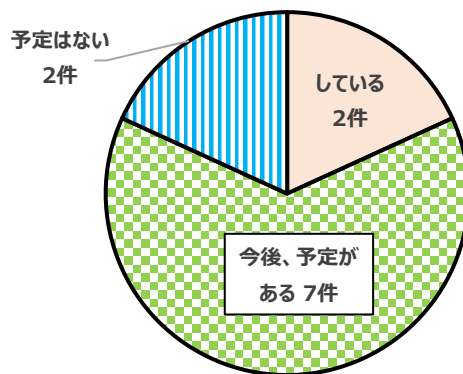
●連絡方法（複数回答可）

電話	6
LINE	6
MCS	5
eST-aid	4
メール	3
FAX	1

④ 管内の医療機関の連絡先を把握している（連絡先一覧表の作成含む）。

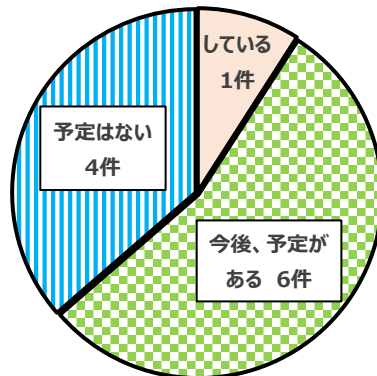


⑤ 地域の会員薬局と地域版 BCP※を作成している。



※災害や感染症などの緊急事態において、薬局が医薬品供給や服薬指導などの重要業務を継続し、地域医療を維持するために、事前に必要な準備と対応を定めた計画

⑥ 他地域から応援に来た薬剤師を受入れた際の依頼する業務内容を整理している。

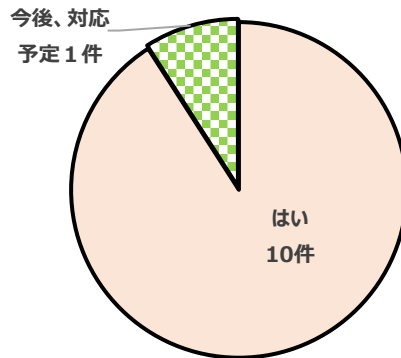


⑦ その他（災害対応として実施している具体的な内容

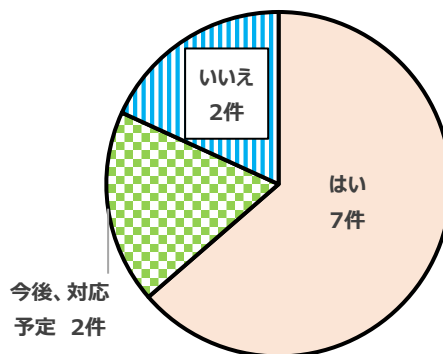
- ・15 地域に班分けし地域毎で活動（八尾市）
- ・eST-aid 等を用いて医薬品供給や地域医療を維持するために必要な準備を行う計画をしている。（柏原市）
- ・東大阪市、近畿大学薬学部、東大阪市内 3 薬剤師会との災害協定並びに東大阪市、東大阪市内 3 薬剤師会との災害協定（東大阪布施）
- ・災害時の報告訓練・一次救命講習（河内長野市）
- ・会員薬局に緊急用の大容量モバイルバッテリーを配布など。（松原市）

2. 災害時の医薬品確保・供給体制等について、市町村との連携状況を教えてください。

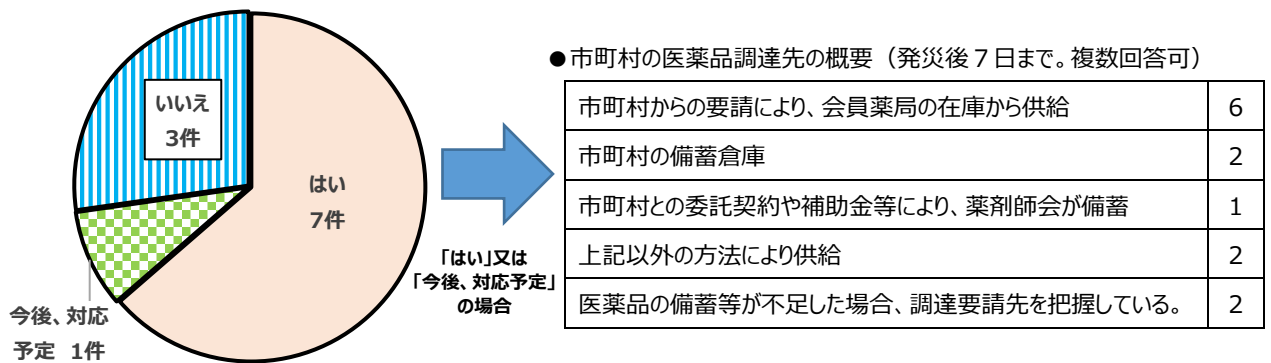
① 災害協定を締結している。



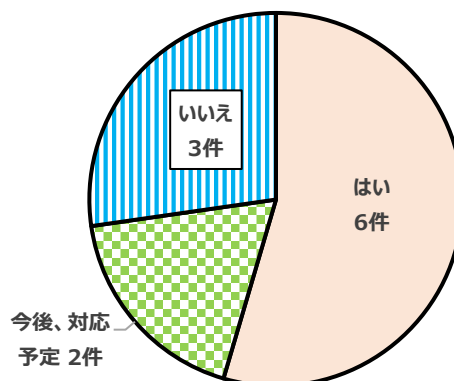
② 市町村の災害対策本部（連絡先含む）を把握している。



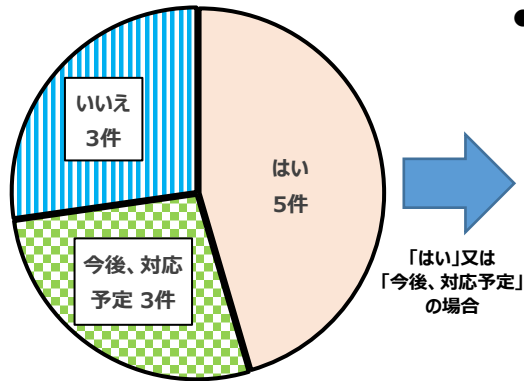
③ 市町村の医薬品調達先を把握している。



④ 市町村が医薬品を供給する先（救護所等）を把握している。



⑤ 市町村からの要請により、薬剤師を派遣するための体制がある。



●体制の概要（複数回答可）

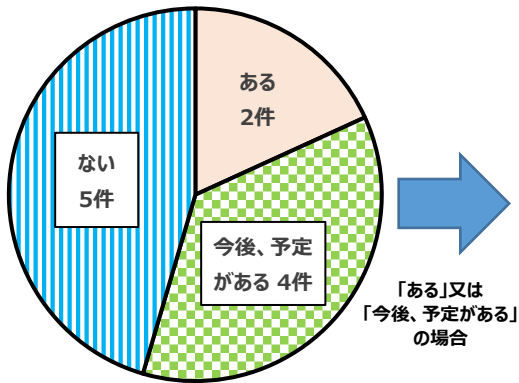
派遣先（避難所・救護所等）を把握している。	6
派遣先（避難所・救護所等）での業務を理解している。	3
派遣薬剤師との連絡方法を決めている。	2
派遣可能な薬剤師のリストを作成している。	1

●連絡方法（複数回答可）

メール	2
電話	1
LINE	1
eST-aid	1

3. 災害訓練について、教えてください。

① 医薬品供給や薬剤師派遣にかかる災害訓練に参加したことがありますか。



●訓練の内容（予定含む）（複数回答可）

救護所等への薬剤師派遣	5
避難所等での薬剤師による相談応需・服薬指導等	5
医薬品集積場所での調整・手配（発災直後の、限られた薬剤を交付する量の調整等含む）	4
不足医薬品の供給要請	3
服薬中の薬剤を滅失等した被災者に対する薬歴、お薬手帳等の確認に基づいた薬剤の交付	3
避難所において、室内環境や衛生管理のために実施するCO ₂ 濃度測定や換気指導	2

4. 医薬品の確保供給体制や薬剤師派遣等にかかる災害対応について、課題や今後の支援又は連携に関するご意見等

- ・日頃から地域フォーミュラを実施する事で、薬効群毎の推奨医薬品が標準化されていると災害時において対物業や対人業務が何もしてないより遥かに業務が合理的である。（八尾市）
- ・柏原市に対して災害時用の医薬品備蓄に関する予算を依頼しているが、市の予算の用途が立っていない。市立柏原病院に備蓄してもらったうえで、薬剤師会にてローリングストックを行う体制づくりの提案もしているが、実施の用途が立たない。発災時における使用医薬品リストの作成について柏原市医師会・歯科医師会に申し入れを実施している。
上記2点について、府・保健所から柏原市等の対応部署への助言や支援の要請等をお願いしたいと切に思っている。（柏原市）
- ・受援体制の整備が課題と感じています。（東大阪市布施）
- ・市町村との会議に参加したことがないため要請がどのように降りてくるのかわかっていない。薬剤師会会員でも東大阪に居住していない薬剤師も多いため実際に災害が起こったときどのくらいの薬剤師が集まり動けるのか？（河内）
- ・災害時のシミュレーション回数を重ねて行ない、そこでいろいろな状況をあらわにし、発災時にスムーズに動けるように、対応法を確立していくことが必要だと思います。（富田林）
- ・以前に市薬研修会にて避難所運営ゲームという研修会を行いました。職種ごとに必要なスキルも大事なのですが、避難される方々が怒涛のように押し寄せる想定の中、風邪等感染症を発症している方やペットを連れて避難される方などどのようにエリア分けするかゲーム感覚で体験することができました。（河内長野市）